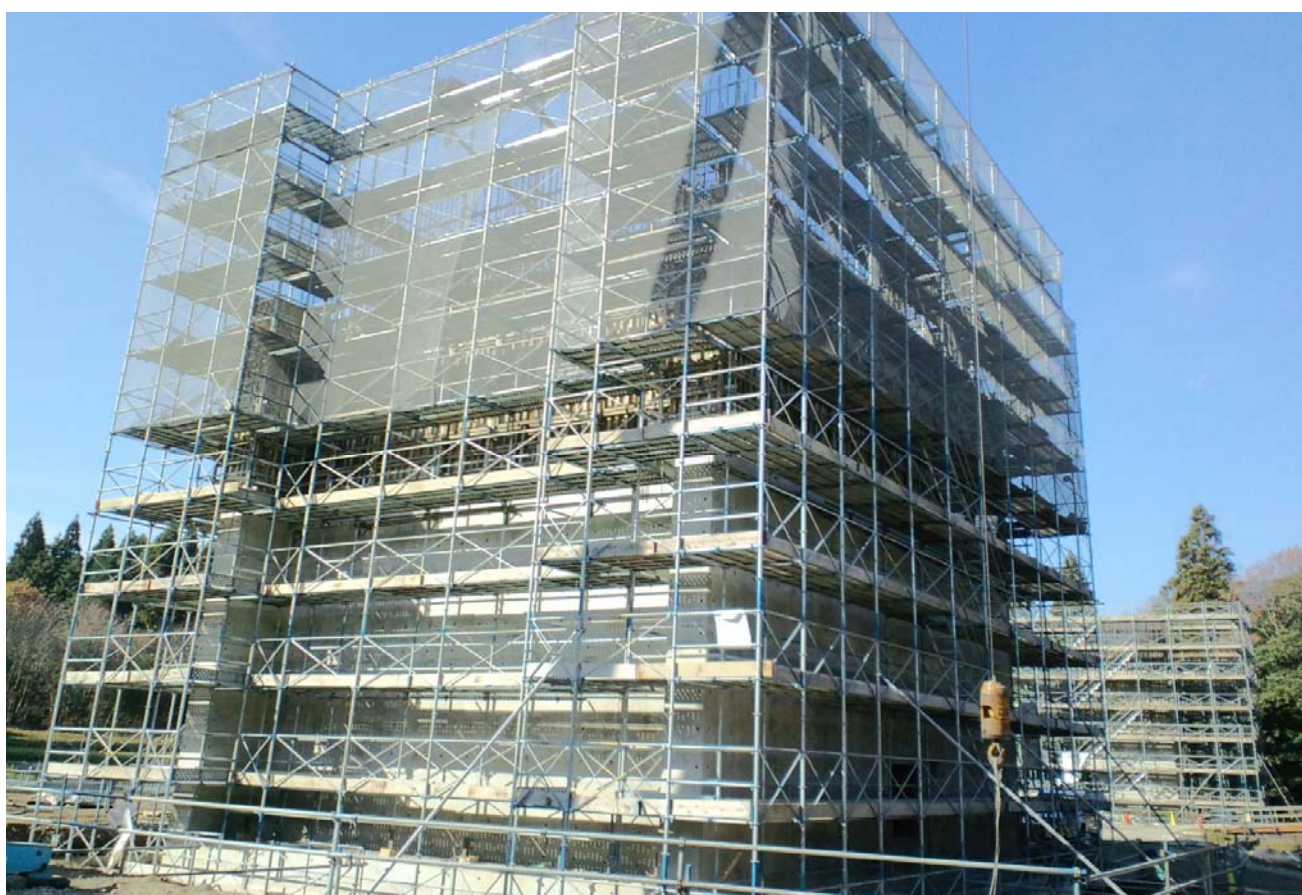


ミレニウム

21世紀の革命・・・手すり先行総合システム“次世代足場”



厚生労働省「手すり先行工法に関するガイドライン」による、手すり先行専用足場方式



- ・ **安全性:** 手すり先行工法で安心感のある足場
- ・ **経済性:** 従来足場に比べて積載効率40%アップ
- ・ **作業性:** 作業空間の高さ(1層高さ/1800mm)作業性の向上

国土交通省:NETIS(新技術情報提供システム)登録済

登録No KK-100081-V

<http://www.netis.mlit.go.jp/>

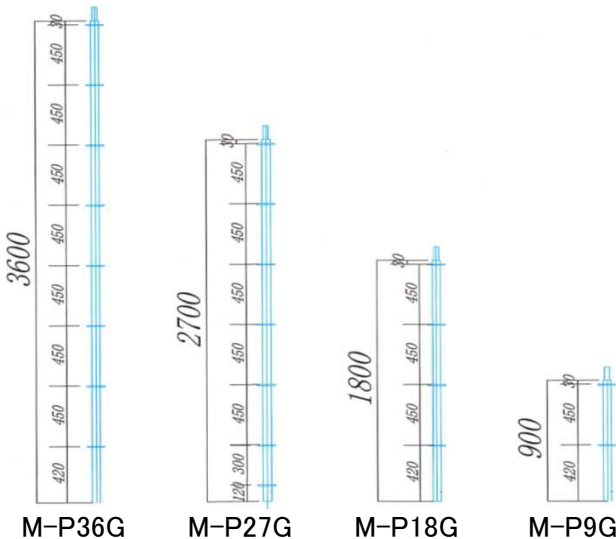
(社)仮設工業会承認

・ミレニウムを用いた本足場(第53-2号)

・ミレニウムを用いた型枠支保工(第66号)

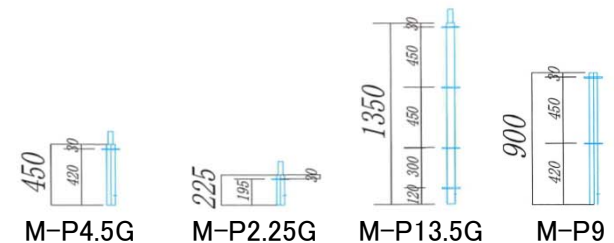
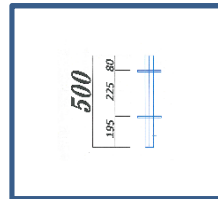
支柱

品番	品名	質量(kg)
M-P36G	支柱 3600	12.3
M-P27G	支柱 2700	9.5
M-P18G	支柱 1800	6.4
M-P9G	支柱 900	3.5



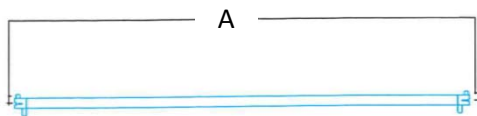
品番	品名	質量(kg)
M-P4.5G	支柱 450	2.5
M-P2.25G	支柱 225	1.4
M-P13.5G	支柱 1350	5.2
M-P9	支柱 900(ピン無)	3.5
M-OJP5G	大引受支柱	2.3

大引受支柱



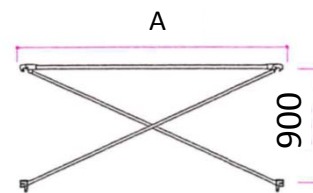
布材

品番	品名	A(mm)	質量(kg)
M-SC18G	布材 1829	1,829	4.6
M-SC15G	布材 1524	1,524	3.8
M-SC12G	布材 1219	1,219	3.1
M-SC9G	布材 914	914	2.4
M-SC6G	布材 610	610	1.7
M-SC3G	布材 305	305	1.0

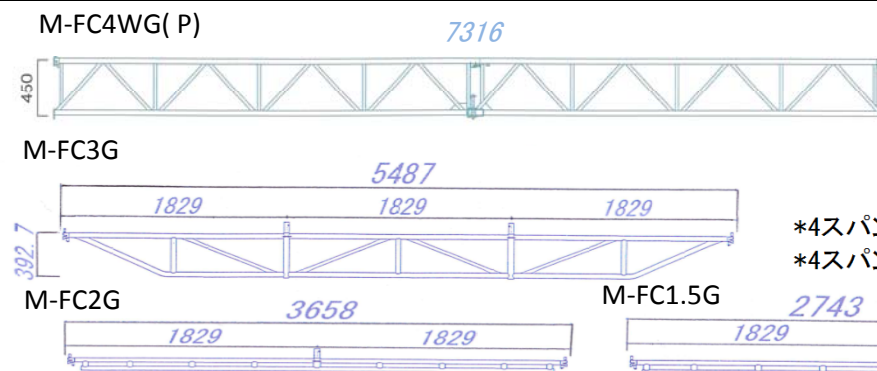


手摺先行ブレース

品番	品名	A(mm)	質量(kg)
M-STXC1809	手摺先行ブレース 1829	1,829	6.4
M-STXC1509	手摺先行ブレース 1524	1,524	5.6
M-STXC1209	手摺先行ブレース 1219	1,219	4.8
M-STXC909	手摺先行ブレース 914	914	4.0
M-STXC609	手摺先行ブレース 610	610	3.3



梁枠



品番	質量(kg)
M-FC4WG(P)	55.0
M-FC3G	36.0
M-FC2G	20.0
M-FC1.5G	15.0
M-UT	1.3

*4スパン用のみ分割型での構成です。
*4スパン用は別途U時ピンをご利用下さい。

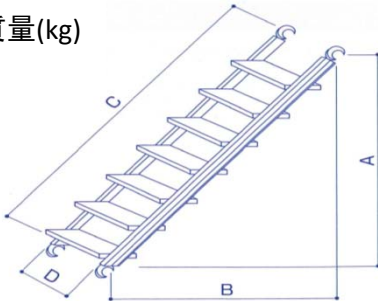


M-UT

階段アルミ

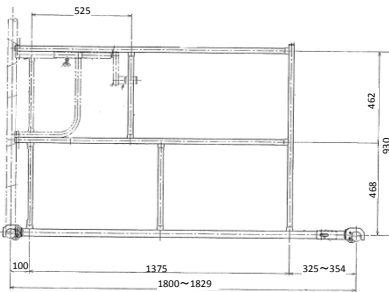
品番	A	B	C	D
M-KC1818A	1800	1829	2560	450

質量(kg)



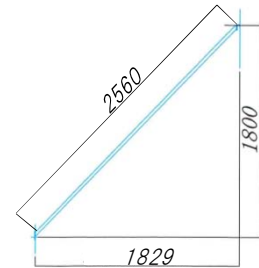
ミレニューム開口手摺枠

品番	質量(kg)
M-SFG1829	13.0



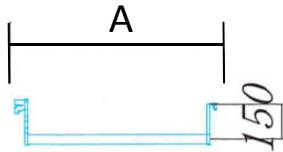
階段用手摺

品番	質量(kg)
M-JEC18P	3.2



階段受

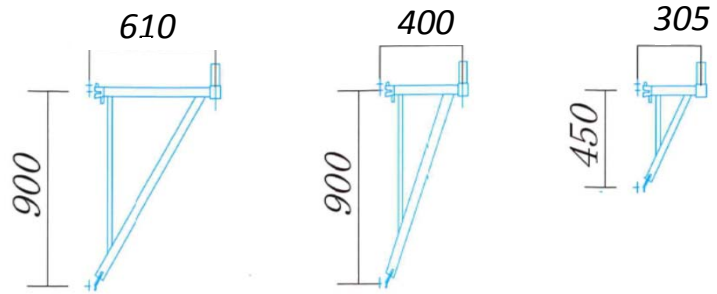
品番	A(mm)	質量(kg)
M-KUC12G	1,219	3.6
M-KUC9G	914	3.0
M-KUC6G	610	2.4



*根絡み用のフランジ部のみ取付

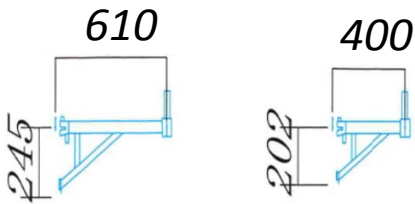
張出ブラケット

品番	質量(kg)	品番	質量(kg)	品番	質量(kg)
M-BKC6G	5.0	M-BKC4G	4.3	M-BKC3G	3.0



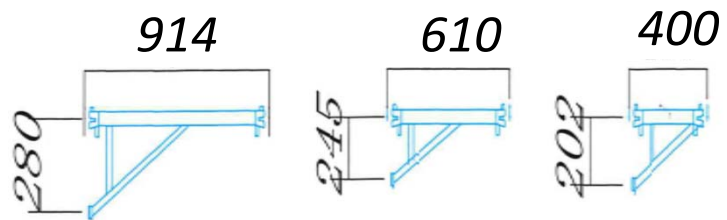
ピンブラケット

品番	質量(kg)	品番	質量(kg)
M-PBKC6G	3.1	M-PBKC4G	2.4



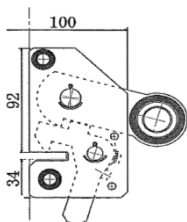
ブラケット

品番	質量(kg)	品番	質量(kg)	品番	質量(kg)
M-SC9BKG	3.4	M-SC6BKG	3.0	M-SC4BKG	1.8



ミレニューム大組用吊金具

品番	質量(kg)
M-OTKG	1.3



*大組は原則2層6スパンとする。
*6分(19mm)のシャクルをご用意下さい。

その他共通部材等

*鋼製布板及びジャッキベースは従来の枠組用をご利用下さい。

*記載部材以外のオプションも随時更新中ですので、お気軽に担当営業の方へご確認下さい。

*作業手順書及び大組大バラし等の資料は、弊社にてご準備しておりますので、店頭及び担当の営業にお申しつけ下さい。

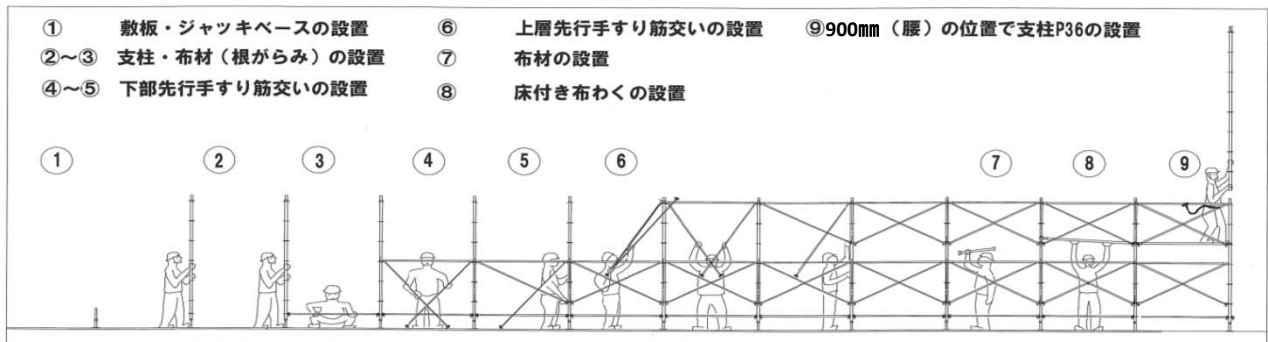
◆使用基準・組立手順

□使用基準

- ① 本足場使用高さ31m以下とし、31mを超えて使用する場合は、超える高さ部分について下部支柱の補強をすること。(補剛材仕様での補強対応で、単管補強を省くことも可能。但し、強度検討書提出必要有り。)
- ② 壁つなぎは2層3スパン以内毎に設置する事。
(組立マニュアルには養生シート取付けの関係により、2層2スパンを推奨しています。)
- ③ 後踏み側のスパンには、先行手すり筋交いを使用する事。
- ④ 作業荷重:幅900mm以上は400kg/1スパン同時2層以下、幅900mm未満は200kg/1スパン同時2層以下とする。
- ⑤ 右記の許容支持力以下で使用する事。○支柱 : 1本あたりの許容支持力 : 11kN (1.12t)
: 単管補強の場合 : 16.3kN (1.66t)
: 補剛材仕様の場合 : 1.99kN (2.03t)
: 先行手すり筋交い仕様の場合(支保工) : 27.4kN・47.0kN(2.8tから4.8t)

※ その他機材も実大試験を基にした資料がございますので、各営業担当にお問い合わせ下さい。

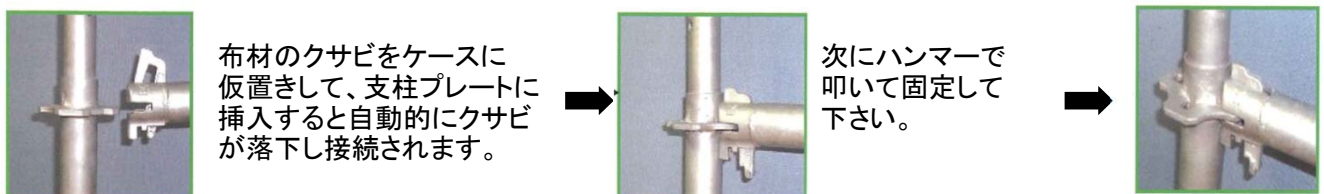
□組立手順



- 支柱の接続は、オートロック機能により接続及び取外しが安全簡単に出来ます。



- 布材のクサビは、接続すると支柱プレートから抜けない安全構造です。(クサビ式足場との大きな相違点です)



- 先行手すり筋交いの接続は、手すり材と斜めブレース材2本が一体式になっています。
① まず片側の先端 カギ型金具を支柱のプレート穴に挿入→ ②次に反対側も同様に挿入→③④次に両方の斜め材を手すりから900mm 下のプレートにクサビを固定(自動的に手すりが抜けない構造になっています。)



◆安全性・経済性・作業性

安全性 手すり先行工法で安心感のある足場

- 1層上の作業床を取付前に、先行手すり筋交いを設置可能。
先行手すり筋交いは2段手すり機能を有しています。
- 足場の内外両側に先行手すり筋交いが取り付け可能で、親綱を張る必要が全くありません。

経済性 単管・クランプをほとんど必要としません。

- 根がらみは布材で取り付け可能。
様々な調整部材があるため、滅失の多い単管・クランプがほとんど必要ありません。

作業性 作業空間の広さ、作業性の向上

- 1層の高さが1800mmのため、作業空間を広く取ることが出来ます。
そのため、鳶工・他職を含む足場上での作業者が背中をかがめての重労働から解放され、作業効率の向上に繋がります。
- シレニュームなら610幅の設計でも従来の枠組と比べ、補剛材が無い為、かなり広いスペースでの作業幅が確保できます。
- 手すり位置から上の空間は遮るものがなく、各職人の作業効率が上がります。

600幅でも広い空間！！



大型ローリングにも最適！！



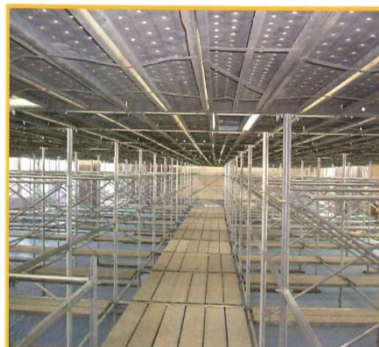
根がらみも簡単取付！！



大組・大ばらしが可能！！



棚足場下段の広いスペース！！



単管補強も可能！！



◆ミレニュームシステムの許容支持力

【1】 システム承認に含まれる許容支持力

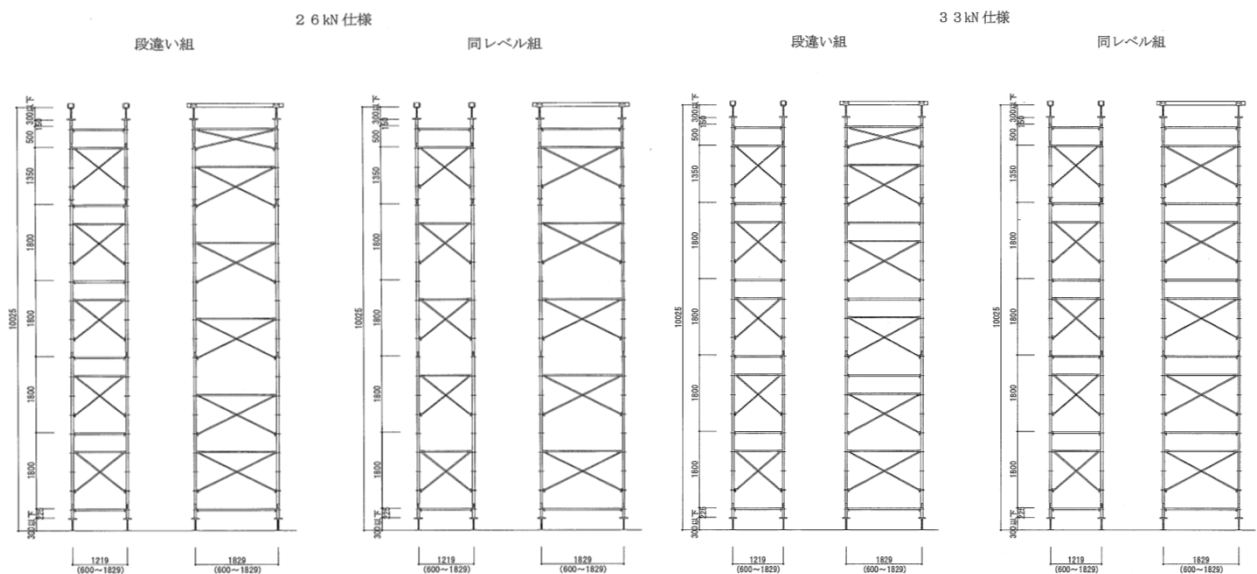
基本構造

分類	構造	許容支持力 (1支柱あたり)	備考
足場	支柱	11.0 kN	前踏み側: 布材・先行手摺筋交い共通
	支柱(建地単管補強足場)	15.2 kN	前踏み側: 布材・先行手摺筋交い共通
支保工	2.6t仕様(標準仕様)	26.0 kN	同レベル組・段違い組共通
	3.3t仕様(布材補強仕様)	33.0 kN	同レベル組・段違い組共通

部材

分類	部材	許容支持力 (1支持点あたり)	備考
足場	2スパン梁柵	5.4 kN	梁柵上に先行手すり筋交いがない場合
		7.5 kN	梁柵上に先行手すり筋交い1層以上ある場合
	3スパン梁柵	7.5 kN	梁柵上に先行手すり筋交いがない場合
		11.0 kN	梁柵上に先行手すり筋交い3層以上ある場合
	4スパン梁柵(分割型)	4.3 kN	梁柵上に先行手すり筋交いがない場合
4スパン梁柵(分割型)	11.0 kN	梁柵上に先行手すり筋交い3層以上ある場合	

分類	部材	許容水平抵抗力	備考
足場	先行手すり筋交い(1枚当たり)	2.8 kN	
支保工	先行手すり筋交い(1枚当たり)	2.8 kN	26kN仕様(標準仕様)の場合
		3.3 kN	33kN仕様(布材補強仕様)の場合



【2】 システム承認に含まれない許容支持力(メーカー保証)

分類	部材	許容支持力 (中央集中)	許容支持力 (緊結部)	備考
足場	布材 SC6G	4.5 kN	10.0kN	
	布材 SC9G	4.5 kN		
	布材 SC12G	3.5 kN		
	布材 SC15G	2.5 kN		
	布材 SC18G	2.0 kN		

分類	部材		許容支持力 (先端)	備考
足場	ブラケット	SC4BKG	2.0 kN	
		SC6BKG	2.0 kN	
		SC9BKG	2.0 kN	
	ピンブラケット	PBKC4G	2.0 kN	
		PBKC6G	2.0 kN	
	張出ブラケット	BKC3G	5.5 kN	補強をしない場合
			11.0 kN	支柱2本組とする指定方法(図1)で組立てた場合
			11.0 kN	ブラケット下部に布材を設ける場合(図2)
		BKC4G	5.5 kN	補強をしない場合
			11.0 kN	支柱2本組とする指定方法(図3)で組立てた場合
			11.0 kN	ブラケット下部に布材を設ける場合(図4)
		BKC6G	5.5 kN	補強をしない場合
11.0 kN			支柱2本組とする指定方法(図3)で組立てた場合	
11.0 kN			ブラケット下部に布材を設ける場合(図4)	

分類	部材	許容支持力 (1枚あたり)	備考
支保工	先行手すり筋交い	2.6 kN	2.6t仕様の場合
		3.4 kN	3.4t仕様の場合

